

問 財政見通しを村民と共有すべき

答 村長自らが説明する機会を設ける



新政とうかい
すずき のぼる
鈴木 昇 議員

問 令和3年度は、火力発電所の稼働により、税金増の見込みである。引き続き安定的な財政運営が期待できるが、財政状況の見通しは。



1月から営業運転開始となった常陸那珂共同火力発電所1号機

答 歳入は村税が一时的に増収だが、令和4年度以降は一定の割合で通減していく。歳出は、交流館建設などの大規模事業終了に伴い投資的経費が縮小し、令和4年度以降は、事業の平準化により同規模で推移

問 昨年9月に村長は、「本村の成長を支えてきた財政力は、決して安泰とは言えない」と行政経営方針で述べた。厳しいならばこそ、村長自らが直接村民に対し、本村の財政見通しを伝えるべき。



村内でもワクチン接種に向けた調整が進められている

答 将来にわたって安定した財政経営維持のため、しっかりと村の財政状況を説明し、持続可能な歳出構造の転換への理解を求めていく。地域の懇談会などに出向き、村民に説明する機会を設けたい。

問 ワクチン接種のスケジュールは

答 まず3月中旬から専用コールセンターを開設し、接種券やワクチン接種の予約受付等の問い合わせに対応していく。4月に75歳以上の方に接種券を発送し、ワクチンが4月26日の週に村に対して配送される見込みであるが、量に限りがあるため、5月以降に段階的に接種を開始する。その後、順次65歳から74歳の方へ接種を実施する予定で準備を進めている。なお、接種方法については、住民に身近なかかりつけ医等による個別接種方式として、現時点で村立東海病院ほか村内10の医療機関で接種できる体制づくりに進めている。

問 新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた全体スケジュールはどうか。

答 5月以降に段階的に実施予定

問 新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた全体スケジュールはどうか。

答 村内の医療機関と連携し、かかりつけ患者がワクチン接種を希望した場合には、訪問診療の際に接種出来るよう検討している。また、高齢者施設の連携医療機関等の医師が接種医としての施設に向く形で巡回接種も可能であり、接種体制の確保に向け調整を図っていく。